



おおもりりき お 大森力男 議員 (新政クラブ)

八幡平市流の地方創生策 20%のプレミアム商品券



若者定住を目的に建設された安代若者センター

大森議員 地方創生法では、「地方版総合戦略」の策定を努力義務としている。八幡平市はどのように取り組んでいくか。
市長 国の総合戦略などを考え合わせ、人口減少対策事業や定住化促進を盛り込み、27年度中に策定する。

市長公室長 3月1日に市まち・ひと・しごと総合戦略推進本部を設置した。
大森議員 国で予算化した交付金の活用方法は。
市長 地方創生型は人口ビジョンや総合戦略の策定、観光振興事業、企業化支援事業に充てたい。

市長公室長 地域消費喚起生活支援型を活用し、1枚千円の商品券12枚のセットを1万円で購入するプレミアム付き商品券を発行する。
ふるさと納税制度
大森議員 国は手続きの簡素化で、ふるさと納税制度の普及や拡大を進めていくが、今後の市の取り組みは。
市長 地元特産品の贈呈は、PR活動の良い機会で、魅力を感じている。還元率を争うような贈答品競争ではなく、寄付したいと考える人の気持ちをくすぐるような工夫を検討していきたい。

米価下落の対応策

大森議員 県は、あきたこまちに代わる主食用米「岩手107号」を奨励品種に決定したが、市の対応は。
市長 栽培適地が盛岡周辺であり、当面は作付けや販売状況を見ながら検討する。



きたぐちかず お 北口和男 議員 (無党派)

送電線接続現状と時期

工事契約結びH29年に



平成29年の発電開始に向けて

北口議員 八幡平市の再生可能エネルギー発電の東北電力への送電線接続の現状と、時期はいつごろか。
市長 松尾八幡平地域で地熱発電の調査をしている岩手地熱(株)からは、送電設備関係の工事契約を東北電力と締結したと聞いている。

発電を開始した場合は、送電は可能となる。
地域振興課長 平成29年に発電開始を進めている。
北口議員 地熱発電では冷却用の水が重要となる。水の採取方法はどのようになっているか。
市長 発電量で水の使用量は左右されるが、発電所予定地の近くにある沢の水が利用できる状況である。

市長 地域防災計画は、県の防災計画の改正点を反映し、2月の防災会議で改定した。計画を基に、現実的で実践的な行動マニュアルの整備を図っていききたい。
北口議員 防災行政無線の実施マニュアルをつくるべきではないか。

市長 今後、防災無線のデジタル化に向け、災害の種類ごとにサイレンの音を変えて放送するなど、市民にわかりやすく伝えるよう検討していきたい。
●他の質問事項 行政事務の効率化について



たむらよし お 田村善男 議員 (八起会)

増え続ける空き家対策 所有者の特定を進める



道路沿いの危険な空き家

田村議員 人口減少が進み、老朽化で倒壊のおそれや景観上の問題などが社会問題化する中、管理不十分なまま放置された空き家の解消に向けた対策を急ぐ必要があるのではないか。
市長 市は昨年8月に地域の空き家の実態を把握する

ため、行政区や自治会、町内会単位に管理がされていない空き家の数と状態についてアンケート調査を実施した。市内の空き家である住家596棟、倉庫88棟のうち、管理されていない空き家は住家167棟、倉庫32棟となっている。今後は、

空き家の所在と状態の実態把握、所有者などの特定を行うことなど、総合的に行うことが重要である。
教委制度の改革は責任体制の明確化
田村議員 現行の教育委員会制度には、さまざまな課題があるとの指摘がある。今回の制度改革の趣旨をどのように捉えているのか。
教育長 今回の改正は、首長が直接教育長を任命することの任命責任と教育行政の第一義的な責任者が明確化することや、常勤の教育長が教育委員会の会議の招

集のタイミングを適切に判断し、早急に対応することができたり、首長と教育委員会が教育行政の方向性を共有し、一致して執行に当たったりすることが可能となり、地方公共団体としての教育政策に関する方向性が明確になるものである。



たちばなやすふみ
立花安文 議員
(八起会)

若手林業育成者取り組み

次期総合計画の中で検討



高性能林業機械による伐採現場

立花議員 若手林業育成者育成に取り組むべきではないか。市長 林業関係者から意見を聞き、次期総合計画で検討したい。
立花議員 若者を林業に従事させる施策を打ち出すべきと考える。
土木林業課長 将来的に作

業員不足が懸念されることから、新たな支援策を考えながら、若手林業者の育成を図りたい。
立花議員 市民文化会館整備は木造建築で計画してもらいたい。
市長 現時点では建設への具体的な構想はない。検討

した結果、建設が決まった場合には、木造建築を選択肢の一つとして考える。
スキー国体後の全国大会開催計画
立花議員 スキー国体後の全国規模の大会開催計画は、市長 平成29年の全日本マ

スターズスキー選手権大会、32年度以降の全国中学校スキー大会の拠点開催地で誘致したいと思っている。
立花議員 拠点開催とはどういうことか。
スポーツ推進課長 5年から10年間連続して大会を誘致(開催)するものである。

安代林業センター
民間へ施設譲渡
立花議員 林業センターの民間譲渡は検討しているか。
市長 直ちに譲渡するのは現実的ではないが、時間を要しながら進めなければならないと考えている。



やまもと さかえ
山本 榮 議員
(日本共産党)

保育所の待機児童解消

当面は受け入れ弾力化



安心して子育てできる環境整備を

山本議員 八幡平市の保育所待機児童の状況は。
市長 27年度は、4月初時点で10人の待機児童が出る見込みである。
山本議員 27年度からの子ども・子育て支援事業計画では、待機児童解消は30年度からとなっている。早

期に解消するため、計画を見直すべきである。
市長 改修で対応可能な部分は全て実施した。当面受け入れの弾力化を図る。
地域福祉課長 3年後の杉の子保育園の改修を待ち、解消のためにできる限り事業者への打診をしたい。

パークゴルフ場設置
山本議員 田山スキー場競技センター前に18ホールの市営のパークゴルフ場設置が必要である。
市長 パークゴルフ場として利用するためには、毎年補修整備を行う必要がある、

設置場所としては適さない。既存施設の有効的な活用と、田山スキー場にこだわらない場所を模索していただきたい。
ゲートボール場設置
山本議員 市ゲートボール協会が陳情した綿帽子温泉

館の脇に市営のゲートボール場設置が必要である。
副市長 施設協はかなりの面積の市有地がある。ゲートボール場の活用に差し支えないのであれば、庁内で調整をしたい。ゲートボール協会でも設計や整地など議論いただきたい。



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
(新政クラブ)

国旗・市旗の尊重と敬愛

正しい掲揚啓発に努める



国旗・市旗を掲揚した市議会議場

渡辺議員 昨年12月、新しい議場に国旗と市旗が掲揚された。国旗・市旗などの掲揚推進や啓発活動が必要と考える。
市長 国旗・市旗を尊重し、市政を推進する。ミニ国体旗などは、県と連携し市民運動として取り組む。

教育長 学習指導要領に沿って、各小中学校で国旗や国歌の指導を行っている。
市民参画の総合計画
渡辺議員 次期市総合計画に12コミセンの地域計画を反映させ、まちづくり意見を反映させるべきである。

市長 各地域振興協議会が策定した地域計画は、関係部署で共有し、参考としている。
渡辺議員 小中高生や若い女性などの意見をどのように反映する考えか。
市長 市長講話など機会を捉えて、子どもたちに市の

状況などを伝えていきたい。各種審議会委員の公募などで、若い女性たちの意見を聞く機会を作り、女性の積極的参加を促したい。
図書館サービス向上
渡辺議員 市立図書館は手狭である。西根地区市民セ

ンターを図書館別室として有効活用してはどうか。
教育長 26年度は952冊の図書を廃棄処分した。次期総合計画の中で保存庫などの確保を検討したい。
教育次長 西根地区市民センターの活用は市長部局とも協議しながら検討したい。



井上辰男 議員 (八起会)

産廃最終処分場の問題

丁寧な説明と話し合い

井上議員 県の産業廃棄物最終処分場の最終候補地は、どのような過程で八幡平市に選定されたのか。
市長 住民説明会での意見や整備の確実性など、総合的に判断した結果、各候補地の中で最も優位性が高いとの判断で選定された。

井上議員 いわてクリーンセンターの見学では、地域住民からの声を聞く機会があるのか。
市長 実際の市民の声を聞けるように進めていく。
井上議員 花輪線の新駅設置
井上議員 地元からJR花

の活性化が期待できると思うが可能性はどうか。
市長 地域住民の考えも総合的に検討しながら、可能性をトライできればと考えている。
●他の質問事項 西根庁舎の活用、危機管理について



いわてクリーンセンターの埋立地



高橋悦郎 議員 (日本共産党)

人口減少対策を最優先

総合戦略計画で歯どめ

高橋議員 八幡平市の人口は合併後10年余りで3495人減少している。過去に例がない危機的状況だといえるが、この状況についての見解は。
市長 年間に亡くなる人が400人を超えるのに対して、生まれてくる子どもが

「滞在型観光推進」の五つの重点施策で人口減少対策を進めてきたが、八幡平市を含めた東北地域での人口減少は著しいものがある。
高橋議員 人口減少は市の直面する最大の課題となっている。対策として国が進める人口ビジョンと総合戦

に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する一四つの基本目標を示している。27年度内に市の総合戦略を策定するが、議会からも具体的な提言をいただきたい。何とか人口減少に歯どめをかけた。



人口減少対策に歯どめを (3月18日・大更小学校卒業式)



小野寺昭一 議員 (八起会)

安代地区に生活支援事業

市自立支援協議会で議論

小野寺議員 八幡平市の障害者数の現状と、障害者の居住支援をどのように進めるか。
市長 平成26年3月末現在、身体障害者手帳の所持者は1409人となっている。居住系サービスのグループホームは現在、市内で11カ

小野寺議員 安代地区には居住系サービスと日中活動系のサービスの施設がない。設置すべきではないか。
市長 現在、安代地区から他の地区に通い、サービスを利用している人は7人いる。八幡平市障害者自立支援協議会で議論したい。



共生型グループホーム白山の里

積立基金運用方法
小野寺議員 基金のうち、積立基金の額は年々増加している。運用方法はどのようになっているか。
市長 財政調整基金を年度間の財源調整と普通交付税の縮減に対応するため、計画的に積み立て、財政運営の安定を図るとともに、他の基金も設置目的に合わせた事業に充当している。基金の管理や保管に当たっては、当分の間は金融機関への預金を継続するが、市内の公金取扱連絡会で検討し、効率的な運用に努めたい。

議会改革特別委員会

■期日・場所 2月2日・久慈市
■内容 議会基本条例に関する先進事例調査



久慈市議会(2月2日)

"じえじえじえ"な議会目指し条例策定

久慈市議会は、議会改革の一環で、平成26年3月に議会基本条例(通称「じえじえじえ基本条例」)を制定しました。この条例は、①条例前文を方言化②議会活動を検証する③市民と議会が協働する場「かだつて会議」の設置④ICTの積極的活用⑤委員会の委員長志願者の所信表明機会を設定⑥他議会との積極的交流—の六つが特徴。条例の実効性を高め、「じえじえじえ」な議会を目指しています。

次は6月定例会(予定)

期日	内容
6月12日(金)	議案上程 ほか
6月13日(土)・14日(日)	休会
6月15日(月)	一般質問
6月16日(火)~21日(日)	休会
6月22日(月)	一般質問
6月23日(火)	一般質問
6月24日(水)	議案審議
6月25日(木)	休会
6月26日(金)	委員長報告 ほか

※午前10時開会(変更の場合があります)

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する人は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください(受付で住所や氏名を記入する必要はありません)。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、会派代表質問と一般質問の様子はインターネット(YouTubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。

クイズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう?

27年度の
地域おこし協力隊は
全部で○人任用

- 応募方法 答え、住所、氏名(ふりがな)、議会だよりを読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールで応募ください。正解者の中から抽選で10人に八幡平市共通商品券を1,000円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。
※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp
- しめ切り 平成27年6月22日(月)(当日消印有効)
- 前回(No.38)の正解>> ラグビー
応募者 39人 正解者 31人

議会の動き

(2月2日~4月30日)

- 2月**
- ▶2日 議会改革特別委員会 所管事務調査(~3日)
 - ▶6日 議会改革特別委員会
 - ▶9日 会派代表者会議
 - ▶12日 議会運営委員会
 - ▶16日 会派代表者会議、議員全員協議会、議会運営委員会
 - ▶18日 平成27年第1回定例会(~3月20日)、教育民生常任委員会協議会、議員全員協議会、議会広報常任委員会
 - ▶20日 議会運営委員会
 - ▶23日 議会広報常任委員会
 - ▶24日 議会改革特別委員会
 - ▶25日 日本共産党会派研修
- 3月**
- ▶2日 議会運営委員会
 - ▶4日 議会運営委員会、議会広報常任委員会
 - ▶5日 議会運営委員会
 - ▶9日 議会運営委員会
 - ▶10日 議会広報常任委員会、予算特別委員会、議員全員協議会、議会運営委員会
 - ▶11日 教育民生常任委員会、産業建設常任委員会
 - ▶12日 予算特別委員会、議会運営委員会
 - ▶13日 予算特別委員会、議会運営委員会
 - ▶16日 予算特別委員会、議会広報常任委員会
 - ▶17日 予算特別委員会
 - ▶20日 議会運営委員会
 - ▶24日 議会運営委員会
 - ▶25日 緑松会・自由クラブ会派合同研修(~27日)、八起会会派研修(~26日)
 - ▶26日 工藤直道議長研修
- 4月**
- ▶2日 議会広報常任委員会
 - ▶9日 議会改革特別委員会
 - ▶23日 議会改革特別委員会
 - ▶28日 議会広報常任委員会
 - ▶30日 議会改革特別委員会

はちまんたい議会だよりは、今号から「ギカイのひろば」としてリニューアルしました。今後も議会の活動をわかりやすく伝え、市民の皆さんに親しまれる議会だよりを目指していきます。
議会広報常任委員会 委員長 高橋 悦郎



くどう つよし
工藤 剛 議員
(新政クラブ)

元気な高齢者への施策

生きがいと健康づくり

工藤議員 多くの高齢者に元気でいてもらうための施策は。
市長 健康教室や健康状態アンケート、ふれあいいきいきサロン、認知症に対する普及啓発活動を通して介護予防推進事業を実施している。今後は、老人クラブ

活動などによる生きがいづくりと、特定健診や長寿健診による健康づくりを推進していく。
工藤議員 例えば健康増進に努力した人や健康改善をした人にポイントを与え、市内の施設を利用できるような制度を作り、健康に対

する意欲を高めてもらうというのはいかがでしょうか。
健康福祉課長 検討の余地はあると思う。
公共工事の落札率
工藤議員 26年度の公共工事の落札率と市長の見解は。
市長 2月23日現在、11

3件入札し、平均落札率は96・32%である。現在は積算能力があれば予定価格に近い額が出せるので、おかしな数字ではない。
小中学校連携教育
工藤議員 小中連携教育の実績と評価は。
他の質問事項 人口減少対策について



高齢者の元気が八幡平市の活力に